

# 内閣官房移管の歴代総理大臣特別資料の特徴

寺澤 正直

## 1 はじめに

これまで『北の丸』では、行政機関から移管された文書について、行政機関や部局別に研究が行われてきた<sup>1</sup>。本研究は、先行研究のない行政機関である内閣官房から平成 21 年(2009)に移管された文書である歴代総理大臣特別資料を取り上げ、その資料の特徴を示すことを目的としている。同資料は複数の簿冊で構成され、各簿冊には多くの写真が含まれている。本研究ではこの資料を総称して、歴代総理大臣特別資料と呼ぶことにする。

本研究で同資料を取り上げる理由は、次の3つの課題が見られることにある。

第1に、同資料は内閣総理大臣官邸写真室(以下、「官邸写真室」という。)が撮影したとされる写真であるものの、内閣官房内閣広報室がデジタル画像を作成し、その画像データを移管したため、国立公文書館デジタルアーカイブ(以下「DA」という。)で提供される目録の作成部局は「内閣官房内閣広報室(記録担当)」とあり、同資料の来歴がわかりにくくなっている。

第2に、DAで同資料の目録情報を閲覧することができるが、簿冊表題が共通の語句である「歴代総理大臣特別資料 写真」と内閣総理大臣経験者(以下「総理」という。)の氏名もしくはサミット等の抽象的な情報となっていることや、件名一覧が作成されていないことによって、その簿冊がどのような内容の文書で構成されているかを把握できない状態である。

第3に、同資料の各簿冊を識別するため、簿冊表題に総理の氏名を付しているが、総理自身の写真を含むのか、総理の在任時期の写真を含むのかがわかりにくく、検索困難な状態にある。写真1はその一例で写真のタイトルが「昭和天皇崩御」、写真説明が「新元号“平成”を発表する小渕官房長官(1)」であり、簿冊表題が「(略)大喪の礼」の簿冊(平21内閣90030100)に含まれる写真である。この写真の小渕元総理は、平成元号発表時で竹下内閣の官房長官であったが、この写真は簿冊表題が「(略)小渕恵三首相 国内」の簿冊(平21内閣90027100)や「(略)竹下登首相 国内」の簿冊(平21内閣90014100)には含まれていないのである。



写真1 タイトル「昭和天皇崩御」の写真

そこで、上記の課題に対応するため、文書の作成部局の組織変遷を踏まえた上で、写真に付与された情報から同資料の特徴を分析し、その利用促進に役立てることが本研究の目的である。

### 1. 1 歴代総理大臣特別資料の概要

歴代総理大臣特別資料について概観する。表1は同資料の各簿冊におけるレファレンスコード、簿冊表題、関連事項の一覧である。表1より、同資料は全部で36簿冊、各簿冊は全て光学メディアであるCD媒体で構成していることが確認できる<sup>2</sup>。簿冊表題に着目すると、総理の氏名が付された簿冊が28簿冊(平21内閣90001100～90028100)、即位の礼等のトピックが付された簿冊が7簿冊(平21内閣90029100～90035100)、その他に検索性CDと付された簿冊が1簿冊(平21内閣90036100)確認できる。

表1 歴代総理大臣特別資料一覧

レファレンスコード	簿冊表題	関連事項
平21内閣90001100	歴代総理大臣特別資料 写真 001 佐藤栄作首相 国内・海外	CD
平21内閣90002100	歴代総理大臣特別資料 写真 002 田中角栄首相 国内	CD
平21内閣90003100	歴代総理大臣特別資料 写真 002 田中角栄首相 海外	CD
平21内閣90004100	歴代総理大臣特別資料 写真 003 三木武夫首相 国内・海外	CD
平21内閣90005100	歴代総理大臣特別資料 写真 004 福田赳夫首相 国内	CD
平21内閣90006100	歴代総理大臣特別資料 写真 004 福田赳夫首相 海外	CD
平21内閣90007100	歴代総理大臣特別資料 写真 005 大平正芳首相 国内	CD
平21内閣90008100	歴代総理大臣特別資料 写真 005 大平正芳首相 海外	CD
平21内閣90009100	歴代総理大臣特別資料 写真 006 鈴木善幸首相 国内	CD
平21内閣90010100	歴代総理大臣特別資料 写真 006 鈴木善幸首相 海外	CD
平21内閣90011100	歴代総理大臣特別資料 写真 007 中曽根康弘首相 国内1	CD
平21内閣90012100	歴代総理大臣特別資料 写真 007 中曽根康弘首相 国内2	CD
平21内閣90013100	歴代総理大臣特別資料 写真 007 中曽根康弘首相 海外	CD
平21内閣90014100	歴代総理大臣特別資料 写真 008 竹下登首相 国内	CD
平21内閣90015100	歴代総理大臣特別資料 写真 008 竹下登首相 海外	CD
平21内閣90016100	歴代総理大臣特別資料 写真 009 宇野宋佑首相 国内・海外	CD
平21内閣90017100	歴代総理大臣特別資料 写真 010 海部俊樹首相 国内	CD
平21内閣90018100	歴代総理大臣特別資料 写真 010 海部俊樹首相 海外	CD
平21内閣90019100	歴代総理大臣特別資料 写真 011 宮澤喜一首相 国内	CD
平21内閣90020100	歴代総理大臣特別資料 写真 011 宮澤喜一首相 海外	CD
平21内閣90021100	歴代総理大臣特別資料 写真 012 細川護熙首相 国内・海外	CD
平21内閣90022100	歴代総理大臣特別資料 写真 013 羽田孜首相 国内・海外	CD
平21内閣90023100	歴代総理大臣特別資料 写真 014 村山富市首相 国内	CD
平21内閣90024100	歴代総理大臣特別資料 写真 014 村山富市首相 海外	CD
平21内閣90025100	歴代総理大臣特別資料 写真 015 橋本龍太郎首相 国内	CD
平21内閣90026100	歴代総理大臣特別資料 写真 015 橋本龍太郎首相 海外	CD
平21内閣90027100	歴代総理大臣特別資料 写真 016 小渕恵三首相 国内	CD
平21内閣90028100	歴代総理大臣特別資料 写真 016 小渕恵三首相 海外	CD
平21内閣90029100	歴代総理大臣特別資料 写真 019 即位の礼	CD
平21内閣90030100	歴代総理大臣特別資料 写真 020 大喪の礼	CD
平21内閣90031100	歴代総理大臣特別資料 写真 021 サミットNO. 1	CD
平21内閣90032100	歴代総理大臣特別資料 写真 022 サミットNO. 2	CD
平21内閣90033100	歴代総理大臣特別資料 写真 023 歴代組閣NO. 1	CD
平21内閣90034100	歴代総理大臣特別資料 写真 025 歴代総理ポートレート	CD
平21内閣90035100	歴代総理大臣特別資料 写真 028 総理大臣葬儀	CD
平21内閣90036100	歴代総理大臣特別資料 写真 検索性CD	CD

なお、平成 21 年（2009）度の移管は、公文書管理法施行以前のため、「歴史資料として重要な公文書等の適切な保存のために必要な措置について（平成 13 年 3 月 30 日閣議決定）の実施について」（平成 13 年 3 月 30 日各府省庁官房長等申合せ、改正平成 17 年 6 月 30 日）に基づく移管であり、その 1 (3)⑤の「行政機関がその施策等を一般に周知させることを目的として作成した広報誌、パンフレット、ポスター、ビデオ等の広報資料のうち当該行政機関の本府省庁が保有しているもの」に該当するものと考えられる。

また、平成 16 年（2004）度に移管された文書の中に、「歴代総理大臣特別資料 写真」を簿冊表題に含む資料（平 1 6 内閣 00022100）<sup>3</sup>があり、その内容を確認したところ、検索用 CD（平 2 1 内閣 90036100）と同様の内容を含む簿冊であったため、本研究では調査対象から除外することとした。

同資料の階層構造は、図 1 のとおりである。図 1 の左側には国立公文書館 EAD 定義<sup>4</sup>の「1.1. 対象となるデータの構成」、右側には同資料の移管元省庁、資料群、簿冊に対応する具体的な記述を記載している。なお、国立公文書館では、利用者サービスの一つとして、簿冊に含まれる件名を作成し、DA を通じて提供する場合があるが、同資料の件名は作成されていない。

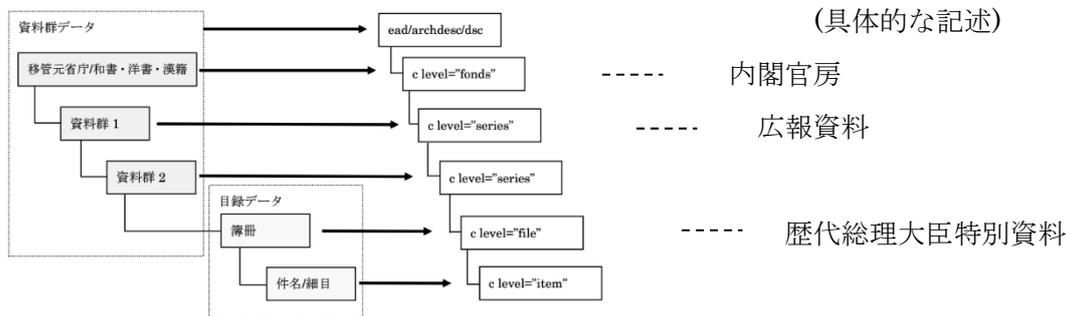


図 1 歴代総理大臣特別資料の階層構造

次に、同資料内に含まれる写真の検索方法に着目し、簿冊表題「(略)検索用 CD」の簿冊（平 2 1 内閣 90036100）の内容を確認する。図 2 は検索用 CD の起動後に表示される検索画面である。検索画面の検索条件には、「総理大臣」、「撮影年月日」、「行事」、「タイトル」、「写真説明」、「撮影場所」、「国名」、「カラー／白黒」の検索条件が見られる。現用段階における同資料の利用者は、この検索用 CD<sup>5</sup>を用いることで、キーワードや撮影年月日等の検索条件で写真を検索していたと思われる。

図2 検索用 CD の検索画面

しかし、令和2年(2020)時点において、この検索用 CD で要求する仕様<sup>6</sup>を満たすことは困難であり、その検索機能が動作しない状態にある。そのため、同資料を一般利用者が利用する場合、DA 上の簿冊目録を元に、特定の簿冊を選択し、各簿冊に含まれる写真を1つずつブラウジングし確認していくこととなる。

なお、上記の検索は、検索用 CD に含まれる SGML 形式で記述されたテキストデータを対象として検索結果を表示する仕組みとなっている<sup>7</sup>。表2は SGML 形式で記述されたテキストデータの構造を示したものである。左側は写真に付与された SGML 形式の記述例を記載し、中央は図2を参考として各項目の名称を記載、右側には各項目のデータタイプを示した。図2から「総理大臣」、「撮影年月日」、「撮影年(和暦)」、「行事」、「タイトル」、「写真説明」、「撮影場所」、「国名」、「カラー/白黒」、「画像データファイルの格納パス」の項目を確認することができる。本研究ではこの各写真に項目別に構造化されたデータを「写真メタデータ」<sup>8</sup>と呼ぶこととする。

表2 検索用 CD に含まれる SGML 形式で構造化された写真メタデータ

SGML 形式の記述	項目名称	データタイプ
<SGML>		
<T1532879>佐藤 栄作</T1532879>	総理大臣	選択項目
<T3333864>1968/09/12</T3333864>	撮影年月日	YYYY/MM/DD
<T8395340>昭和 43</T8395340>	撮影年(和暦)	テキスト(和暦 YY)
<T1955862>国内・国内視察 災害</T1955862>	行事	選択項目
<T3756281>飛弾川バス転落事故現場視察</T3756281>	タイトル	テキスト
<T4082025></T4082025>	(不明)	
<T1267692>学童の遺影に顔をうます総理</T1267692>	写真説明	テキスト
<T5746901>三和町三和小学校 校庭</T5746901>	撮影場所	テキスト
<T3069392>日本</T3069392>	国名	選択
<T1550768>1_1_4_25</T1550768>	(不明)	
<T2376185>佐藤栄作総理 1-1-25</T2376185>	(不明)	
<T3874925>白黒</T3874925>	カラー/白黒	選択
<T4184243> </T4184243>		
<PAGE>		
<HONBUN></HONBUN>		
<BINARY>&quot; 官邸写真室特別資料¥001 佐藤_国内海外 ¥01_1001¥0000006. jpg&quot;</BINARY>	ファイルパス	URL
</PAGE>		
</SGML>		

最後に、ブラウジングによって特定することになる画像データに着目し、その仕様<sup>9</sup>について確認する。同資料の画像データは、検索用 CD(平 2 1 内閣 90036100)に格納された検索結果の表示に用いる低解像度の画像データと、検索用 CD 以外の簿冊(平 2 1 内閣 90001100～90036100)に格納される高解像度の画像データの 2 種類に分けることができる。

表 3 は同一内容で、低解像度と高解像度の画像データの仕様を比較した結果の一例である。サンプルに用いた写真は、タイトル「飛弾川バス転落事故現場視察」、写真説明「学童の遺影に顔をうるます総理」の画像データである。なお、比較する画像データの仕様の項目は PREMIS<sup>10</sup>の Object エンティティの項目のうち、ファイルサイズ、ファイルのフォーマット、ファイルを作成したアプリケーション等の項目を選定した。また、ファイルサイズ(PREMIS-1.5.3)に大きな違いが確認できるため、追加項目として、画像とサイズ及び解像度を加えた。表 3 の作成日(PREMIS-1.5.5.3)より、検索用 CD 以外の簿冊に格納される高解像度の画像データを元データとして、検索用 CD に格納される画像データを作成したことが推測できる。また、表 3 より確認できる主な違いは、ファイルサイズと備考に記載した「©内閣官房内閣広報室」の有無が挙げられる。

表 3 画像データの仕様の比較結果

項目	低解像度の画像	高解像度の画像
レファレンスコード	平 2 1 内閣 90036100	平 2 1 内閣 90001100
写真		
PREMIS 項目		
ファイルサイズ(PREMIS-1.5.3)	70.0KB	1.32MB
ファイルフォーマット名(PREMIS-1.5.4.1.1)	JPG	JPG
ファイルフォーマットバージョン(PREMIS-1.5.4.1.2)	-	-
作成アプリケーション名(PREMIS-1.5.5.1)	Adobe Photoshop	Adobe Photoshop
作成アプリケーションバージョン(PREMIS-1.5.5.2)	CS2	CS
作成日(PREMIS-1.5.5.3)	2004/11/22	2004/04/01
オリジナルのファイル名(PREMIS-1.6)	000006. jpg	000006. jpg
追加項目		
幅	640 ピクセル	2012 ピクセル
高さ	419 ピクセル	1318 ピクセル
水平方向の解像度	72dpi	72dpi
垂直方向の解像度	72dpi	72dpi
備考	画像右下に「©内閣官房内閣広報室」の記載有	-

## 1. 2 内閣官房内閣広報室と首相官邸写真室

歴代総理大臣特別資料の作成部局について、DA の目録情報上で作成部局とされる内閣官房内閣広報室と、写真を撮影した部局と考えられる官邸写真室について概観する。

第 1 に、内閣官房内閣広報室について概観する。内閣官房全体における内閣官房内閣広

報室の位置づけは、図3から確認することができる<sup>11</sup>。図3から内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣官房副長官、その下に内閣広報官と内閣広報室を設置していることがわかる。図3の組織図は、内閣法<sup>12</sup>と内閣官房組織令<sup>13</sup>からも確認することができる。内閣法を確認すると第17条第1項に「内閣官房に、内閣広報官1人を置く。」とあり、同条第2項に「内閣広報官は、内閣官房長官、内閣官房副長官及び内閣危機管理監を助け、第12条第2項第2号から第5号までに掲げる事務について、必要な広報に関することを処理するほか、同項第2号から第5号までに掲げる事務のうち広報に関するものを掌理する。」とある。また、内閣官房組織令を確認すると、同令第1条に「内閣官房に次の三室を置く。」とあり、その一つに内閣広報室があることがわかる。また、同令第3条に内閣広報室の業務について確認することができる。

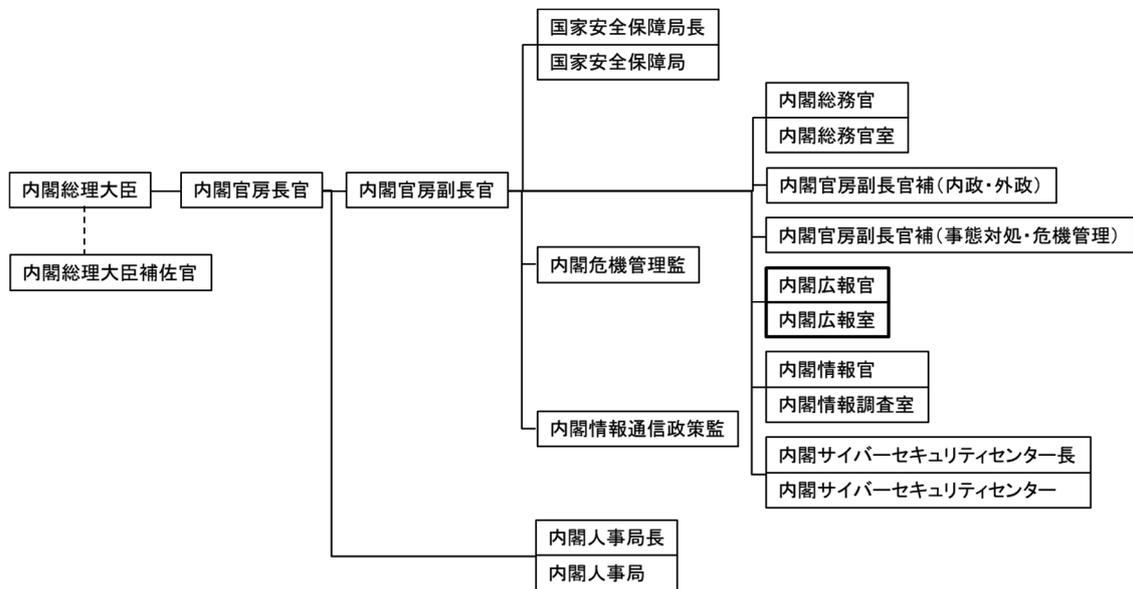


図3 内閣官房組織図(平成31年4月1日)

表4は、内閣広報室の業務を規定する内閣官房組織令第3条と内閣法第12条の対照であり、内閣官房の事務の内、内閣法第12条第2項第1号「閣議事項の整理その他内閣の庶務」及び同項第6号「内閣の重要政策に関する情報の収集調査に関する事務」以外の内閣官房の事務のうち広報に関するものが、内閣広報室の業務であることが確認できる。

内閣広報室の所掌事務は、上表の内閣官房組織令に規定されているが、内閣官房のウェブサイト<sup>14</sup>からも確認することができる。同ウェブサイトを確認すると内閣広報室に「内閣の重要政策に関する広報の推進<sup>15</sup>」及び「首相官邸からの情報発信<sup>16</sup>」の2つの業務がなされていることの説明が確認できる。

内閣官房内閣広報室の組織変遷は、DA から提供されている省庁変遷図を用いて確認することができる。省庁変遷図を用いて確認すると、昭和48年(1973)5月1日に内閣広報室が

表4 内閣法第12条及び内閣官房組織令第3条の対照

内閣法第12条	内閣官房組織令第3条
<p>第12条 (略)</p> <p>2 内閣官房は、次に掲げる事務をつかさどる。</p> <p>一 閣議事項の整理その他内閣の庶務</p> <p>二 内閣の重要政策に関する基本的な方針に関する企画及び立案並びに総合調整に関する事務</p> <p>三 閣議に係る重要事項に関する企画及び立案並びに総合調整に関する事務</p> <p>四 行政各部の施策の統一を図るために必要となる企画及び立案並びに総合調整に関する事務</p> <p>五 前三号に掲げるもののほか、行政各部の施策に関するその統一保持上必要な企画及び立案並びに総合調整に関する事務</p> <p>六 内閣の重要政策に関する情報の収集調査に関する事務</p>	<p>第3条 内閣広報室においては、次の事務をつかさどる。</p> <p>※対応する条文なし</p> <p>一 内閣の重要政策に関する基本的な方針に関する企画及び立案並びに総合調整に関する事務のうち<u>広報に関するもの</u></p> <p>二 閣議に係る重要事項に関する企画及び立案並びに総合調整に関する事務のうち<u>広報に関するもの</u></p> <p>三 行政各部の施策の統一を図るために必要となる企画及び立案並びに総合調整に関する事務のうち<u>広報に関するもの</u></p> <p>四 前三号に掲げるもののほか、行政各部の施策に関するその統一保持上必要な企画及び立案並びに総合調整に関する事務のうち<u>広報に関するもの</u></p> <p>※対応する条文なし</p>

※下線は対比によって確認できた差分を示している。

設置され<sup>17</sup>、昭和61年(1986)7月1日に内閣官房の組織再編成とともに、内閣広報室が内閣官房内閣広報官室となる<sup>18</sup>。次に、平成13年(2001)1月6日に中央省庁改革によって内閣官房内閣広報官室を廃止し、新たに内閣官房内閣広報室が設置されていることが確認できる<sup>19</sup>。なお、設置開始時の内閣広報室から内閣官房内閣広報室までの間、組織の分離及び統廃合は確認できない。

第2に、官邸写真室について概観する。同室に着目する経緯としては、官邸写真室に所属していた久保田氏の報告に、「内閣広報室が主体となって、歴代総理の映像資料を検索用にデジタル化、そのデータは東京・皇居に近い国立公文書館に移管し、一般利用者に供することも考えている。」との記述があり、官邸写真室が撮影した写真を内閣広報室もしくはその前身の部局がデジタル化して取得した経緯が伺えるためである<sup>20</sup>。

まず、内閣関係法規集にて総理大臣官邸及び官邸写真室について確認したところ、内閣官房組織令第5条に、「内閣総務官室に、総理大臣官邸事務所長一人を置く。」と記載され、内閣総務官室に総理大臣官邸事務所等を置く規則(平成12年8月21日内閣総理大臣決定)第1条に「内閣総務官室に総理大臣官邸の管理運営等に関する事務を行うため、総理大臣官邸事務所を置く。」との記載が確認できる。ただし、官邸写真室に関する記載について、内閣法、内閣官房組織令並びにそれらの関連規程類では確認することができない。

官邸写真室に関する情報は、首相官邸のウェブサイトや久保田氏の報告から確認することができる。これらから、昭和61年(1968)に官邸写真室が創設したこと<sup>21,22</sup>、平成12年(2000)にデジタルカメラの使用が開始したこと<sup>23</sup>、平成14年(2002)に首相官邸の建て替えとともに独立した資料室が整備されたこと<sup>24</sup>、久保田氏の報告が公表された平成16年(2004)時点において、同室では約40万コマのフィルムを持ち、うち3千コマを特別保存資料として選択して、室内の恒湿保管庫に収蔵していたこと<sup>25</sup>が確認できる。

### 1. 3 アーカイブズ資料の記述に関する国際標準等と写真資料

本研究の調査対象である歴代総理大臣特別資料は写真の集合物であることから、アーカイブズ資料の記述に関する国際標準等における写真資料の取り扱いに着目し、写真資料の特徴を示すための観点を概観する。具体的には、アーカイブズ資料の記述に関する国際標準である *General International Standard Archival Description* (以下「ISAD(G)」という。)<sup>26</sup> における写真資料の記述について、またアーカイブズの典拠レコードの記述に関する国際標準である *International Standard Archival Authority Record for Corporate Bodies, Persons and Families* (以下「ISAAR(CPF)」という。)<sup>27</sup> における写真に掲載された人物と写真資料との関係の記述について概観する。

ISAD(G)における写真資料に関する記述例は次のとおりである。ISAD(G)の項目としては、タイトル (ISAD(G)-3.1.2)、ユニットの範囲及び媒体 (ISAD(G)-3.1.5)、範囲と内容 (ISAD(G)-3.3.1)、整理のシステム (ISAD(G)-3.3.2) に写真資料に関する記述がみられる。なお、ISAD(G)の用語説明において、アイテム (Item) とは「これ以上分割することのできない、意味情報のまとまりをもったアーカイブズ資料の最小単位」とし、その具体例に写真 (photograph) を挙げている<sup>28</sup>。

タイトル (ISAD(G)-3.1.2) では、その資料が写真資料であることを示す「憲法 200 年目の全国的なお祝いの写真」<sup>29</sup>、「ピアリー家の写真」<sup>30</sup> といった記述例がある。

ユニットの範囲及び媒体 (ISAD(G)-3.1.5) では、その写真資料の規模を示す「8,500 枚の写真」<sup>31</sup>、「1,700 枚の写真複写物」<sup>32</sup>、「書架延長が 312 フィートとなる写真、地図、図面、文書記録」<sup>33</sup>、「2つのフォルダからなる写真」<sup>34</sup>、「260 枚の写真複写物、コピーネガ及び OHP フィルム」<sup>35</sup>、「9 枚の写真複写物」<sup>36</sup> といった記述例がある。

記述の範囲と内容 (ISAD(G)-3.3.1) では次のような記述例がある。①写真資料がその資料構成の一部であることを示す「写真、地図、施設や建設現場の計画を含む仕様書類」<sup>37</sup>、「このシリーズの写真は、主に憲法記念日である 1987 年 9 月 17 日の州等に関する報道で構成されている」<sup>38</sup> の記述例、②写真資料の内容を示す「地元の連絡事務所から委員会に提出された写真は、パレード、小学校の展示や更新、記念樹の植樹、その他の活動を示す。また、(略)を記録した写真がある。」<sup>39</sup> が見られる。

記述の整理のシステム (ISAD(G)-3.3.2) では、その写真資料がどのようなルールで整理されているのかを示す「写真は、州別にアルファベット順、その下に市、町、群別にアルファベット順で整理される」<sup>40</sup> といった記述例がある。

次に ISAAR(CPF) における写真に掲載された人物と写真資料との関係の記述について概観する。ISAAR(CPF) の団体、人物、家とアーカイブズ資料及びその他のリソースとの関係 (ISAAR(CPF)-6) において、典拠レコードとは次のとおりであると説明している。

アーカイブの典拠レコードは主に記録の作成者のコンテキストを記述するために作成される。レコードを有用にするために、典拠レコードとレコードの記述とをつなげる

必要がある。アーカイブの典拠レコードは他の関連する情報資源に関連付けることもできる。そのような関連付けが行われるとき、それが分かる場合には、団体、個人または家と関連づけ資源の間の関係の性質を記述することが重要である。<sup>41</sup>

また、関係の性質 (ISAAR (CPF)-6.3) では、その記述の目的として、団体、人物、家と関連するリソース間の関係の性質について定義することとあり、その具体例として作成者 (creator)、著者 (author)、主題 (subject)、管理者 (custodian)、著作権の所有者 (copyright owner)、監査者 (controller)、所有者 (owner) を挙げている<sup>42</sup>。

写真に掲載された人物と写真資料との関係の記述を試みた場合、写真資料の作成者 (creator)、著者 (author)、著作権の所有者 (copyright owner) はその写真を撮影した人物もしくは作成した部署が相当すると考える。また、管理者 (custodian)、監査者 (controller) はその写真資料を現用文書の段階で文書管理をしていた部署が相当すると考える。さらに、所有者 (owner) は写真資料の現在の所有者であり、そのいずれも写真に掲載された人物との関係の記述になじまず、あえて挙げるとするならば主題 (subject) が相当すると考えられる。

以上から、写真資料の集合物の特徴を示すための観点として、タイトル (ISAD (G)-3.1.2) や内容 (ISAD (G)-3.3.1) に記述することとなる写真資料の内容や構成、ユニットの範囲及び媒体 (ISAD (G)-3.1.5) に記述することとなる写真資料の数量が挙げられる。なお、写真に掲載された人物について記述する場合は、範囲と内容 (ISAD (G)-3.3.1) 内に記述することが可能であると考ええる。

## 2 方法

本研究では、同資料の特徴を明らかにするため、DA で提供する簿冊目録、写真メタデータ、画像データを対象に次の5つ調査を実施する。はじめに、簿冊別の区分について明らかにするため、簿冊表題に着目し、簿冊表題に付された総理氏名の定義 (調査1) と簿冊表題に付された国内もしくは海外の定義 (調査2) について、写真メタデータを対象に調査する。次に、各簿冊に含まれる写真メタデータの件数と電子ファイル数を調査する (調査3)。さらに、調査1から調査3では分析が困難な資料の内容について確認するため、写真メタデータに含まれる頻出語句の分布 (調査4) や重要政策事項に関する写真の有無 (調査5) について調査する。これらの調査結果をもとに、同資料の特徴を考察する。

なお、同資料は写真資料の集合物であることから、アーカイブズ資料の記述に関する国際標準等を踏まえ、同資料の内容や構成、数量を中心に、その特徴を考察する。

### (1) 簿冊表題に付された総理氏名の定義 (調査1)

同資料の簿冊表題は、全簿冊に共通して「歴代総理大臣特別資料 写真」の記述が付され、そのうち28簿冊には総理氏名が付されている。そこで、簿冊表題に付された総理氏名の定義を明らかにするため、次の調査を行う。第1に、簿冊表題に総理氏名が付された簿

冊の写真メタデータを対象に、撮影年月日が各総理の在任期間内か否か、在任期間外であればどのような写真が含まれているかを調査する。第2に、同簿冊の写真メタデータを対象に、「総理大臣」項目の値が簿冊表題に付された総理氏名と一致するか否か、合致しない場合は、どのような写真が含まれているかを調査する。第3に、簿冊表題に総理氏名が付されていない簿冊の写真メタデータを対象に、各写真の撮影年月日がどの総理の在任期間内か、また各写真の「総理大臣」項目においてどの総理を値としているのかを調査する。

#### (2) 簿冊表題に付された国内もしくは海外の定義（調査2）

同資料の28簿冊の簿冊表題には、「国内」、「海外」もしくは「国内・海外」の記述が付されている。そこで、簿冊表題の付された国内もしくは海外の定義を明らかにするため、次の調査を行う。第1に、写真メタデータの「行事」項目の値と簿冊表題に付された「国内」、「海外」もしくは「国内・海外」と一致するか否か、合致しない場合であれば、どのような写真が含まれているかを調査する。第2に、「行事」項目の値が海外で、「国」項目の値が日本となる写真メタデータが確認できた場合、それらがどのような内容の写真かを調査する。

#### (3) 写真メタデータの件数と電子ファイル数（調査3）

同資料の規模を明らかにするため、各簿冊の写真メタデータの件数と、実際に格納されている電子ファイル数を調査する。写真メタデータの件数と電子ファイル数が異なる事象が確認された場合は、その理由について調査する。

#### (4) 写真メタデータに含まれる頻出語句の分布（調査4）

同資料に含まれる写真メタデータの相関のみでは分析困難な傾向を把握するため、写真メタデータの「タイトル」項目、「写真説明」項目の自由記述を対象に、頻出語句の分布を調査する。本調査を行うにあたり、形態素解析<sup>43</sup>を用いて対象項目の自由記述を分かち書きにし、助詞等のストップワード<sup>44</sup>を除去した上で、語句の分布を調査する。なお、頻出語句は同資料全体の上位20位と各簿冊の上位5位までとし、同資料全体の頻出語句で見られない語句が、各簿冊の頻出語句で見られた場合は、その理由について調査する。

#### (5) 重要政策事項に関する写真の有無（調査5）

同資料は写真資料のため、政策の検討過程、決定、実施、実績に関する重要な情報を含むというよりは、それらの場면을撮影したものであることが推測される。また、内閣官房内閣広報室の業務の一つである「内閣の重要政策に関する基本的な方針に関する企画及び立案並びに総合調整に関する事務のうち広報に関するもの」を鑑みても、重要政策に関する写真が含まれている可能性が高いと考える。そこで、重要政策事項に関する写真が同資料にどの程度含まれているかを明らかにするため、次の調査を行う。本調査では、『行政文

書の管理に関するガイドライン』<sup>45</sup>別表第2(2)①(以下、「ガイドライン」という。)に例示された重要政策事項を調査項目として設定し、同資料に重要政策事項に関する写真がどの程度含まれているのかを調査する。ガイドラインでは重要政策事項を、①災害及び事故事件への対処に関する政策事項、②我が国における行政等の新たな仕組みの構築に関する政策事項、③国際的枠組みの創設に関する政策事項の3つに区分している。

①災害及び事故事件への対処に関する政策事項では、東日本大震災関連については平成23年(2011)が当該地震の発生年であり、これらは移管後の出来事であることから調査対象外とし、①の政策事項では、阪神・淡路大震災関連、オウム真理教対策、病原性大腸菌0-157対策の3つを対象とする。

②我が国における行政等の新たな仕組みの構築に関する政策事項では、公文書管理法関連については、平成23年(2011)が公文書管理法の施行年、天皇の退位については、平成31年(2019)が新元号への変更年であり、これらは移管後の出来事であることから調査対象外とする。ただし、公文書管理に関連する事象として、国立公文書館を調査項目に追加することとし、②の政策事項では中央省庁等改革、情報公開法制定、不良債権処理関連施策、国立公文書館の4つを対象とする。

③国際的枠組みの創設に関する政策事項ではサッカーワールドカップ日韓共催については平成14年(2002)が開催年、2020年東京オリンピック・パラリンピックについては令和2年(2020)4月時点で未開催であり、これらは移管後の出来事であることから調査対象外とする。ただし、日本国内で開催されたオリンピックは昭和39年(1964)開催の東京オリンピック、昭和47年(1972)開催の札幌オリンピック、平成10年(1998)開催の長野オリンピックの3大会であり、これらを調査対象に追加することとし、③の政策事項では、気候変動に関する京都会議関連施策、東京オリンピック、札幌オリンピック、長野オリンピックの4つを対象とする。

### 3 結果

#### 3. 1 簿冊表題に付された総理氏名の定義(調査1)

##### (1) 歴代総理大臣特別資料の撮影年月日別の分布

各簿冊に含まれる写真メタデータの撮影年月日进行分析する前に、同資料全体を対象に、撮影年月日別の分布を調査する。調査の結果は図4の通りである。同資料の撮影年月日の期間は昭和43年(1968)9月12日から平成12年(2000)4月1日までの約30年間程度であり、図4より日々一定量の写真メタデータが存在することを確認できる。この期間内において特徴的な写真メタデータの件数を示す4点について、図4の中にAからDとして示した。Aは昭和50年(1975)6月16日の佐藤総理の葬儀に関する写真メタデータで32件、Bは昭和55年(1980)7月9日の大平総理の葬儀に関する写真メタデータで38件、Cは平成2年(1990)11月11日の即位の礼に関する写真メタデータで38件、Dは平成8年(1996)11月19日のAPEC首脳会議に関する写真メタデータで36件ある。

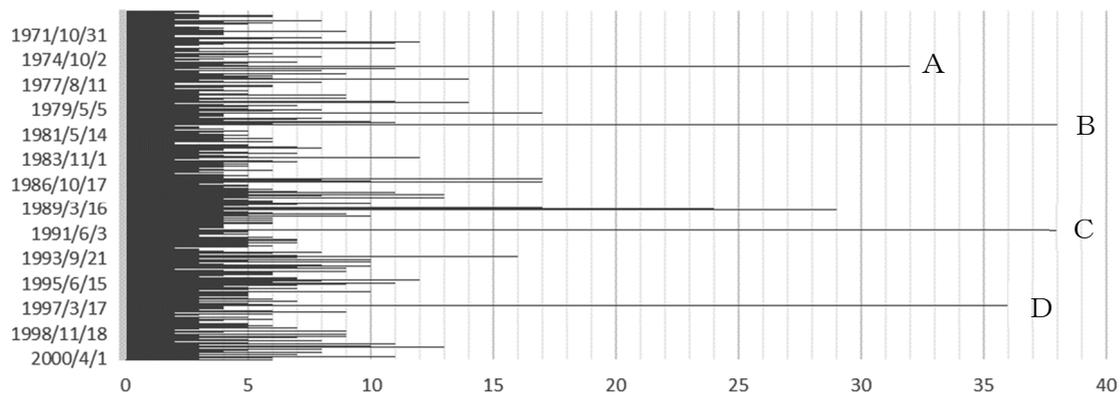


図4 撮影年月日別の写真説明の件数

## (2) 簿冊表題に総理氏名が付された簿冊

簿冊表題に総理氏名が付された簿冊(平成21内閣90001~90028)の写真メタデータを対象に、撮影年月日が簿冊表題に氏名が付された総理の在任期間内か否かを調査した。本調査の結果は表5のとおりである。

表5 総理の在任期間と撮影年月日並びに「総理大臣」項目の値

レファレンスコード	簿冊表題に付された総理の在任期間	撮影年月日		レファレンスコード	簿冊表題に付された総理の在任期間	撮影年月日	
		期間内	期間外			期間内	期間外
平21内閣90001100	佐藤(1964-1972)	335	0	平21内閣90015100	竹下(1987-1989)	174	0
平21内閣90002100	田中(1972-1974)	132	4	平21内閣90016100	宇野(1989-1989)	30	0
平21内閣90003100		183	0	平21内閣90017100	海部(1989-1991)	171	2
平21内閣90004100	三木(1974-1976)	167	0	平21内閣90018100			146
平21内閣90005100	福田(1976-1978)	278	1	平21内閣90019100	宮澤(1991-1993)	177	2
平21内閣90006100		118	0	平21内閣90020100		97	0
平21内閣90007100	大平(1978-1980)	200	0	平21内閣90021100	細川(1993-1994)	176	4
平21内閣90008100		121	0	平21内閣90022100	羽田(1994-1994)	56	3
平21内閣90009100	鈴木(1980-1982)	229	0	平21内閣90023100	村山(1994-1996)	199	0
平21内閣90010100		124	0	平21内閣90024100		145	45
平21内閣90011100	中曽根 (1982-1987)	283	0	平21内閣90025100	橋本(1996-1998)	291	1
平21内閣90012100		70	0	平21内閣90026100		220	0
平21内閣90013100		201	0	平21内閣90027100	小淵(1998-2000)	250	2
平21内閣90014100	竹下(1987-1989)	132	4	平21内閣90028100		266	0

表5の結果から、簿冊表題に付与された総理氏名と、撮影年月日とその総理の在任期間内と同じであることを確認したところ、概ね在任期間内であることが確認できた。しかし、いくつか撮影年月日が総理の在任期間外であった写真が確認できた。具体的には、田中総理の氏名が付された簿冊(平21内閣90002100)は4件、福田総理の氏名が付された簿冊(平21内閣90005100)は1件、竹下総理の氏名が付された簿冊(平21内閣90014100)は4件、

海部総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90017100)の1件、宮澤総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90019100)の2件、細川総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90021100)の4件、羽田総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90022100)の3件、村山総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90024100)が45件<sup>46</sup>、橋本総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90025100)が1件、小渕総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90027100)が2件であった。村山総理の氏名が付された簿冊(平2 1内閣 90024100)の45件を除き、それ以外の簿冊に含まれる在任期間外に撮影された写真は、総理の在任が始まる以前の総裁選、新総裁選出、首班指名の写真が含まれていたことを確認した。また、写真メタデータの「総理大臣」項目の値が、簿冊標題に氏名が付された総理と一致するか否かを調査したところ、全て同じであることが確認できた。

(3) 簿冊表題に総理氏名が付されていない簿冊

簿冊表題に総理氏名が付されていない簿冊(平成21内閣 90029~90035)を対象に、各写真の撮影年月日がどの総理の在任期間内か、各写真の「総理大臣」項目の値がどの総理大臣としているのかを調査した。本調査の結果は表6のとおりである。

表6 撮影年月日と「総理大臣項目」

レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	メタデータの項目	簿冊表題が示す総理の在任期間への該当件数															
		佐藤	田中	三木	福田	大平	鈴木	中曽根	竹下	宇野	海部	宮澤	細川	羽田	村山	橋本	小渕
平2 1内閣 90029100(即位)	撮影年月日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	0	0	0	0	0
	総理大臣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	108	0	0	0	0	0	0
平2 1内閣 90030100(大喪)	撮影年月日	0	0	0	0	0	0	0	102	0	0	0	0	0	0	0	0
	総理大臣	0	0	0	0	0	0	0	102	0	0	0	0	0	0	0	0
平2 1内閣 90031100(サミット)	撮影年月日	0	0	39	35	43	34	109	18	27	19	47	0	0	0	0	0
	総理大臣	0	0	39	35	43	34	109	18	27	19	47	0	0	0	0	0
平2 1内閣 90032100(サミット)	撮影年月日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	36	19
	総理大臣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	36	19
平2 1内閣 90033100(組閣)	撮影年月日	11	22	7	12	11	9	22	10	7	8	9	12	9	11	15	14
	総理大臣	11	22	7	12	11	9	22	10	7	8	9	12	9	11	15	14
平2 1内閣 90034100(ポルト)	撮影年月日	8	2	6	11	4	2	8	6	3	4	5	5	5	3	2	1
	総理大臣	8	2	6	11	4	2	10	6	3	4	3	5	5	3	2	1
平2 1内閣 90035100(葬儀)	撮影年月日	0	0	33	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総理大臣	33	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※下線は同一簿冊かつ各総理の在任期間の区分において、「撮影年月日」と「総理大臣」の項目で差異があるもの

表6の結果から、写真の撮影年月日を含む内閣と「総理大臣」項目の値が①一致する簿冊と②一致しない簿冊が確認できた。

①については次のとおりである。即位の礼(平2 1内閣 90029100)に含まれる写真の撮影年月日を含む内閣と「総理大臣」項目の値は、同様に海部内閣であった。また、大喪の礼(平2 1内閣 90030100)に含まれる写真の撮影年月日を含む内閣と「総理大臣」項目の値は、同様に竹下内閣であった。サミット(平2 1内閣 90031100)に含まれる写真は三木内閣から宮

澤内閣までの期間に撮影年月日が含まれる写真、サミット(平21内閣 90032100)に含まれる写真は細川内閣から小渕内閣までの期間に撮影年月日が含まれる写真であることが確認できる。これらの簿冊の「総理大臣」項目の値も同様で矛盾は見られなかった。なお、第1回先進国首脳会議は昭和50年(1975)にフランスのランブイエで開催され、日本からの出席者が三木総理である。細川総理と羽田総理の在任期間にサミットは開催されていないため、それぞれ0件となり、矛盾は見られない。

②については次のとおりである。撮影年月日を在任期間に含む総理と「総理大臣」項目の値の総理大臣が異なる写真メタデータを含む簿冊を確認したところ、歴代総理ポートレート(平21内閣 90034100)と総理大臣葬儀(平21内閣 90035100)の2簿冊が確認された。一般的にポートレートとは「肖像画や肖像写真の意味で、人物を主な被写体とした写真のこと」であり<sup>47</sup>、歴代総理ポートレート(平21内閣 90034100)内に「広報用」「公式」と付された写真が確認できる。なお、中曽根総理と海部総理の両名が退任後に作成された各2件のポートレートが確認できた。総理大臣葬儀(平21内閣 90035100)の内、佐藤栄作の葬儀に関する写真は、撮影年月日が三木総理の在任期間内であるのに対して、「総理大臣」項目の値が佐藤栄作となっている写真メタデータが確認できる。なお、大平正芳の葬儀は総理大臣現職中の死去であったため、撮影年月日を含む内閣と「総理大臣」項目の値が一致する。本簿冊には、その他の総理の葬儀に関する写真は見られないことを確認した<sup>48</sup>。

### 3. 2 簿冊表題に付された国内もしくは海外の定義(調査2)

#### (1) 全簿冊に対する「行事」項目の値及び「国」項目の値の分布

「行事」の項目には①国内と海外、②行事の類型が示されている。歴代総理大臣特別資料全体に占める「行事」の頻出順のメタデータ分析の結果は図5の通りである。図5より最も多い行事の項目で「海外・外国訪問」1,577件、次に多い行事の項目で「国内・国公賓来日」1,447件であり、この上位2項目で全体の49.9%を占めることがわかる。

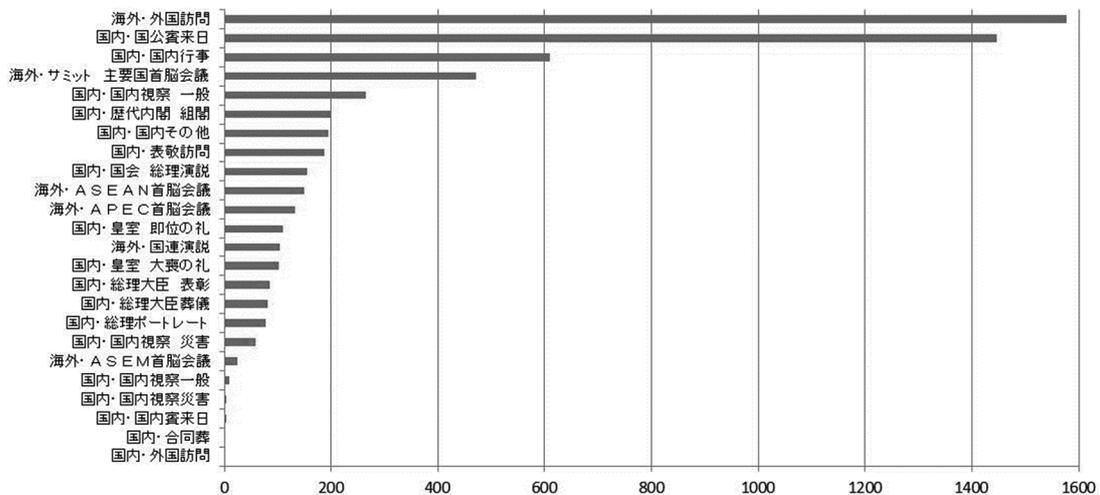


図5 「行事」の値の分布

また、「国」の項目には撮影場所と考えられる国名が示され、同資料における「国」の値を頻出別で集計したところ、同資料の全写真メタデータ 6,055 件の内、最も多い日本が 3,780 件、その次のアメリカが 511 件であり、上位 2 か国で全体の 70.9% を占めることが確認できた。なお、日本のみの場合だけでも 62.4% を占めることが確認できた。

## (2) 各簿冊に対する「行事」項目の値及び「国」項目の値

「行事」の項目の値で国内もしくは海外の件数を集計すると表 7 のとおりである。また「行事」の項目で海外の値としながらも、「国」の項目の値で日本としている写真メタデータの件数を括弧内に示した。

表 7 国内・海外の別、並びに海外のうち「国」項目の値が日本の件数

レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	「行事」項目		レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	「行事」項目	
	国内件数	海外件数		国内件数	海外件数
平 2 1 内閣 90001100(佐藤、国内・海外)	293	42(2)	平 2 1 内閣 90019100(宮澤、国内)	179	0(0)
平 2 1 内閣 90002100(田中、国内)	137	0(0)	平 2 1 内閣 90020100(宮澤、海外)	0	97(0)
平 2 1 内閣 90003100(田中、海外)	0	183(0)	平 2 1 内閣 90021100(細川、国内・海外)	116	61(0)
平 2 1 内閣 90004100(三木、国内・海外)	149	19(0)	平 2 1 内閣 90022100(羽田、国内・海外)	35	24(0)
平 2 1 内閣 90005100(福田、国内)	279	0(0)	平 2 1 内閣 90023100(村山、国内)	199	0(0)
平 2 1 内閣 90006100(福田、海外)	0	118(0)	平 2 1 内閣 90024100(村山、海外)	0	190(45)
平 2 1 内閣 90007100(大平、国内)	200	0(0)	平 2 1 内閣 90025100(橋本、国内)	292	0(0)
平 2 1 内閣 90008100(大平、海外)	0	121(1)	平 2 1 内閣 90026100(橋本、海外)	0	220(14)
平 2 1 内閣 90009100(鈴木、国内)	229	0(0)	平 2 1 内閣 90027100(小渕、国内)	252	0(0)
平 2 1 内閣 90010100(鈴木、海外)	0	124(1)	平 2 1 内閣 90028100(小渕、海外)	0	266(0)
平 2 1 内閣 90011100(中曽、国内)	278	5(0)	平 2 1 内閣 90029100(即位の礼)	108	0(0)
平 2 1 内閣 90012100(中曽、国内)	70	0(0)	平 2 1 内閣 90030100(大喪の礼)	102	0(0)
平 2 1 内閣 90013100(中曽、海外)	0	201(0)	平 2 1 内閣 90031100(サミット)	0	371(119)
平 2 1 内閣 90014100(竹下、国内)	136	0(0)	平 2 1 内閣 90032100(サミット)	0	96(0)
平 2 1 内閣 90015100(竹下、海外)	0	174(3)	平 2 1 内閣 90033100(歴代組閣)	189	0(0)
平 2 1 内閣 90016100(宇野、国内・海外)	30	0(0)	平 2 1 内閣 90034100(ポートレート)	75	0(0)
平 2 1 内閣 90017100(海部、国内)	172	0(0)	平 2 1 内閣 90035100(総理大臣葬儀)	75	0(0)
平 2 1 内閣 90018100(海部、海外)	0	146(0)			

※海外件数の値の右にある括弧は、「国」項目の値が日本である件数である。

表 7 の結果から、概ね全簿冊の簿冊表題の国内もしくは海外の記載と、「行事」項目の値とが一致していることが確認できた。簿冊名称で国内と記載しながら、「行事」項目の値で海外を示す写真メタデータとしては中曽根康弘・国内と付された簿冊(平 2 1 内閣 90011100)に「行事」項目の値を海外とした 5 件の写真メタデータを確認した<sup>49</sup>。また、「行事」項目の値を海外としながらも、撮影国を日本とする写真メタデータは全部で 185 件確認された。内訳は次のとおりである。佐藤・海外(平 2 1 内閣 90001100)で撮影国を日本とする写真メタデータが 2 件<sup>50</sup>、鈴木・海外(平 2 1 内閣 90010100)で撮影国を日本とする写真メタデータが 1 件<sup>51</sup>、竹下・海外(平 2 1 内閣 90015100)で撮影国を日本とする写真メタデータが 3 件<sup>52</sup>、村山・海外(平 2 1 内閣 90024100)で撮影国を日本とする写真メタデータが 45 件<sup>53</sup>、

橋本・海外(平2 1内閣 90026100)で撮影国を日本とする写真メタデータが14件<sup>54</sup>、小淵・海外(平2 1内閣 90028100)で撮影国を日本とする写真メタデータが1件<sup>55</sup>、サミット(平2 1内閣 90031100)で撮影国を日本とする写真メタデータが119件<sup>56</sup>であった。これらの結果から、「国」項目が日本であっても、必ずしも国内行事で整理されておらず、日本国内で開催されていても先進国首脳会議や首脳会談は「行事」の項目において海外を値としていること確認できた。

### 3. 3 写真メタデータ件数と電子ファイル数(調査3)

同資料の各簿冊の規模を明らかにするため、写真メタデータの件数と、実際に格納されている電子ファイル数を調査した。調査結果は表8のとおりである。

表8 写真メタデータ件数と電子ファイル数の比較

レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	メ タ デ ー タ 件 数	電 子 フ ァ イ ル 数	差	レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	メ タ デ ー タ 件 数	電 子 フ ァ イ ル 数	差
平2 1内閣 90001100(佐藤、国内・海外)	335	335	0	平2 1内閣 90019100(宮澤、国内)	179	181	2
平2 1内閣 90002100(田中、国内)	137	137	0	平2 1内閣 90020100(宮澤、海外)	97	97	0
平2 1内閣 90003100(田中、海外)	183	183	0	平2 1内閣 90021100(細川、国内・海外)	180	180	0
平2 1内閣 90004100(三木、国内・海外)	168	168	0	平2 1内閣 90022100(羽田、国内・海外)	59	59	0
平2 1内閣 90005100(福田、国内)	279	279	0	平2 1内閣 90023100(村山、国内)	199	199	0
平2 1内閣 90006100(福田、海外)	118	118	0	平2 1内閣 90024100(村山、海外)	190	190	0
平2 1内閣 90007100(大平、国内)	200	200	0	平2 1内閣 90025100(橋本、国内)	292	292	0
平2 1内閣 90008100(大平、海外)	121	121	0	平2 1内閣 90026100(橋本、海外)	220	220	0
平2 1内閣 90009100(鈴木、国内)	229	229	0	平2 1内閣 90027100(小淵、国内)	252	252	0
平2 1内閣 90010100(鈴木、海外)	124	124	0	平2 1内閣 90028100(小淵、海外)	266	266	0
平2 1内閣 90011100(中曽、国内)	283	283	0	平2 1内閣 90029100(即位の礼)	108	108	0
平2 1内閣 90012100(中曽、国内)	70	70	0	平2 1内閣 90030100(大喪の礼)	102	102	0
平2 1内閣 90013100(中曽、海外)	201	201	0	平2 1内閣 90031100(サミット)	371	371	0
平2 1内閣 90014100(竹下、国内)	136	136	0	平2 1内閣 90032100(サミット)	96	96	0
平2 1内閣 90015100(竹下、海外)	174	174	0	平2 1内閣 90033100(歴代組閣)	189	191	2
平2 1内閣 90016100(宇野、国内・海外)	30	30	0	平2 1内閣 90034100(ポートレート)	75	75	0
平2 1内閣 90017100(海部、国内)	172	172	0	平2 1内閣 90035100(総理大臣葬儀)	75	75	0
平2 1内閣 90018100(海部、海外)	146	146	0				

表8の結果から、35簿冊の内、2簿冊が写真メタデータの件数と、実際に格納されている電子ファイル数が不一致であることが確認された。宮澤・国内(平2 1内閣 90019100)で写真メタデータより電子ファイルが2件多いこと<sup>57</sup>、歴代組閣(平2 1内閣 90029100)で写真メタデータより電子ファイルが2件多いこと<sup>58</sup>が確認できた。

### 3. 4 写真メタデータに含まれる頻出語句の分布(調査4)

調査1から調査3では分析が困難な資料の内容について確認する。本調査では、同資料

の傾向を把握するため、写真メタデータの「タイトル」及び「写真説明」項目の記述を対象に調査した。

同資料全体の「タイトル」「写真説明」項目の記述における頻出語句上位 20 位は図 6 の通りである。

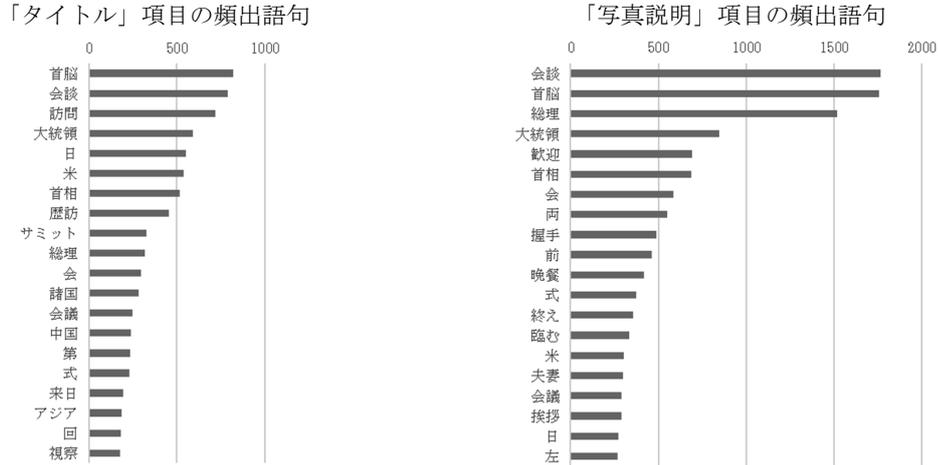


図 6 歴代総理大臣特別資料全体のタイトル及び写真説明の頻出語句上位 20 位

図 6 から、「タイトル」「写真説明」項目ともに頻出している語句として「首脳」「会談」が見られる。例えば全ての写真メタデータ 6,056 件であるのに対して、「写真説明」項目内で出現した「会談」は 1,765 件、「首脳」1,758 件であり、同資料のうち、海外の要人との会談や外交に関する内容の写真が多く含まれていることがわかる。

簿冊標題に付された各総理大臣別の「タイトル」「写真説明」項目の記述における頻出語句上位 5 位は表 9 の通りである。

表 9 各総理大臣別のタイトル及び写真説明の頻出語句上位 5 位

レファレンスコード (簿冊表題の抜粋)	メタデータ 項目	頻出語句				
		上位 1 位	上位 2 位	上位 3 位	上位 4 位	上位 5 位
平 2 1 内 閣 90001100(佐藤)	タイトル	首相(38)	会(36)	大統領(34)	式(27)	沖縄(25)
	写真説明	総理(150)	首脳(76)	会談(70)	歓迎(54)	会(52)
平 2 1 内閣 90002100～ 90003100(田中)	タイトル	諸国(84)	訪問(82)	米(66)	歴訪(65)	中国(39)
	写真説明	首脳(116)	会談(112)	総理(78)	首相(61)	大統領(49)
平 2 1 内 閣 90004100(三木)	タイトル	首相(34)	米(27)	会談(23)	日(22)	首脳(19)
	写真説明	首脳(27)	総理(26)	会談(23)	歓迎(15)	会(11)
平 2 1 内閣 90005100～ 90006100(福田)	タイトル	歴訪(80)	諸国(80)	首相(69)	米(65)	会談(48)
	写真説明	首脳(152)	会談(131)	総理(94)	歓迎(63)	会(45)
平 2 1 内閣 90007100～ 90008100(大平)	タイトル	米(66)	大統領(57)	訪問(50)	会談(50)	首脳(50)
	写真説明	首脳(109)	会談(87)	総理(57)	歓迎(57)	会(38)
平 2 1 内閣 90009100～ 90010100(鈴木)	タイトル	歴訪(68)	大統領(44)	米(35)	諸国(32)	アセアン(32)
	写真説明	首脳(132)	会談(112)	総理(64)	歓迎(49)	大統領(43)
平 2 1 内閣 90011100～ 90013100(中曽根)	タイトル	訪問(82)	来日(71)	大統領(60)	会談(54)	首相(52)
	写真説明	会談(142)	首脳(92)	大統領(85)	中曽(85)	首相(78)
平 2 1 内閣 90014100～ 90015100(竹下内閣)	タイトル	訪問(63)	会談(41)	首脳(41)	日(28)	大統領(28)
	写真説明	総理(72)	会談(69)	首脳(50)	首相(43)	歓迎(34)

平 2 1 内 閣 90016100(宇野)	タイトル	表明(6)	国民(5)	故美(5)	ひばり(5)	所信(5)
	写真説明	総理(13)	宇野(10)	前(5)	会議(5)	米(5)
平 2 1 内閣 90017100～ 90018100(海部)	タイトル	会談(93)	歴訪(54)	訪問(54)	首脳(53)	大統領(51)
	写真説明	会談(118)	首脳(107)	両(81)	総理(80)	大統領(57)
平 2 1 内閣 90019100～ 90020100(宮澤)	タイトル	会談(59)	首脳(53)	歴訪(41)	会(40)	大統領(37)
	写真説明	総理(96)	首脳(82)	会談(81)	両(49)	首相(31)
平 2 1 内 閣 90021100(細川)	タイトル	首脳(47)	大統領(36)	会談(32)	訪問(29)	日(26)
	写真説明	総理(61)	首脳(53)	会談(52)	両(27)	握手(24)
平 2 1 内 閣 90022100(羽田)	タイトル	歴訪(24)	欧州(24)	会談(9)	大統領(8)	日(8)
	写真説明	会談(23)	総理(18)	首相(11)	握手(9)	衆議(8)
平 2 1 内閣 90023100～ 90024100(村山)	タイトル	首脳(116)	会議(70)	APEC(61)	歴訪(59)	日(50)
	写真説明	総理(141)	首脳(113)	会談(97)	大統領(62)	歓迎(53)
平 2 1 内閣 90025100～ 90026100(橋本)	タイトル	訪問(101)	大統領(86)	日(69)	米(65)	首相(61)
	写真説明	首脳(206)	会談(175)	総理(138)	大統領(79)	歓迎(63)
平 2 1 内閣 90027100～ 90028100(小渕)	タイトル	訪問(160)	首脳(55)	公式(43)	アジア(36)	東南(36)
	写真説明	首脳(164)	会談(143)	総理(117)	首相(72)	臨む(56)

簿冊標題に付された総理別の上位5件と同資料全体の上位20位の頻出語句とを比較することで、個別簿冊特有の傾向が見られる。主な傾向として、佐藤総理に関する簿冊(平21内閣90001100)では、「沖縄」を含むタイトルが多数見られ、沖縄返還に関する沖縄主席との会談、沖縄返還協定調印式、沖縄復帰記念式典の写真が確認できた。鈴木総理に関する簿冊(平21内閣90009100)では、「アセアン」を含むタイトルが多数見られ、昭和51年(1976)の東南アジア諸国連合(ASEAN)の5カ国歴訪に関する写真が多数確認できた。村山総理に関する簿冊(平21内閣90023100)では、「APEC」を含むタイトルが多数見られ、平成7年(1995)に大阪で開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)に関する写真が確認できた。小渕総理に関する簿冊(平21内閣90027100)では、「公式」を含むタイトルが多数見られ、平成11年(1998)の米国公式訪問に関するロサンゼルス、シカゴ、ワシントンでの訪問の様子や日米首脳会談の写真が多数確認できた。

### 3. 5 重要政策事項に関する写真の有無(調査5)

本調査では、災害及び事件事件への対処として、阪神・淡路大震災、オウム真理教対策、病原性大腸菌 0-157 の3件、我が国における行政等の新たな仕組みの構築として、中央省庁等改革、情報公開法制定、不良債権処理関連施策、国立公文書館関連の4件、国際的枠組みの創設として、気候変動に関する京都会議関連施策、東京オリンピック、札幌オリンピック、長野オリンピックの4件、計11件の重要政策事項に関する写真が、同資料に含まれるかを調査した。

#### (1) 災害及び事件事件への対処

阪神・淡路大震災は、平成7年(1995)1月17日に発生した淡路島北部を震源地とするマグニチュード7.3の地震である<sup>59</sup>。同資料に含まれる阪神・淡路大震災に関する写真は写真2のとおりである。写真2において、現地視察<sup>60</sup>、災害や復興対策会議<sup>61</sup>、慰霊祭等の式典<sup>62</sup>の写真が確認できる。

写真・No	詳細	写真・No	詳細
 1	①阪神大震災視察 ②航空自衛隊Ys 11機内で土井社会党委員長(右)と打合せ ③1995/1/19 ④平21内閣 90023100	 2	①阪神大震災視察 ②市内災害現場をバスで視察 ③1995/7/19 <sup>63</sup> ④平21内閣 90023100
 3	①阪神大震災被害地視察 ②区立蓮池小学校の避難所で被災者を見舞う ③1995/1/19 ④平21内閣 90023100	 4	①阪神大震災被害地視察 ②兵庫県庁で貝原兵庫県知事から被害状況の報告を受ける。 ③1995/1/19 ④平21内閣 90023100
 5	①兵庫県南部地震対策会議 ②緊急対策本部第一回会合 ③1995/1/19 ④平21内閣 90023100	 6	①中央防災会議 ②院内大臣室で開かれた第1回防災会議。中央総理の右は任命された小里地震担当大臣。 ③1995/1/26 ④平21内閣 90023100
 7	①関西財界人との懇談 ②兵庫県南部地震対策で政府と会合 ③1995/2/6 ④平21内閣 90023100	 8	①阪神・淡路復興委員会 ②初会合で挨拶 ③1995/2/16 ④平21内閣 90023100
 9	①阪神大震災合同慰霊祭参列 ②最も大きな被害を受けた神戸市、尼崎、宝塚両市が合同で慰霊祭が営まれ、式場で追悼の辞を述べ、防災を誓った。 ③1995/3/5 ④平21内閣 90023100	 10	①阪神大震災 被災地視察 ②神戸市立御影小学校に避難している被災者を見舞い激励する総理 ③1995/3/5 ④平21内閣 90023100
 11	①阪神大震災 被災地視察 ②神戸市内の災害地を視察 ③1995/3/5 ④平21内閣 90023100	 12	①阪神大震災 被災地視察 ②市内中心地に集められた小野浜がれきの山を見る ③1995/3/5 ④平21内閣 90023100
 13	①防災の日 臨時閣議 ②阪神大震災後初の防災の日を迎え、訓練のため防災服スタイルで臨時閣議に臨む総理と閣僚たち。 ③1995/9/1 ④平21内閣 90023100	 14	①防災の日、緊急災害対策本部会議 ②阪神大震災後初の防災の日を迎え、防災服姿で会議に臨む総理と関係閣僚たち。 ③1995/9/1 ④平21内閣 90023100
 15	①アジア防災政策会議開会式 ②出席者を前に挨拶する総理。 ③1995/12/17 ④平21内閣 90023100	 16	①阪神大震災の復興現場を視察 ②神戸港湾視察を案内。 ③1995/12/17 ④平21内閣 90023100
 17	①神戸市内の仮設住宅を視察 ②ポートアイランド仮設住宅に避難している住民を慰問 ③1995/12/17 ④平21内閣 90023100	 18	①阪神、淡路 復興対策本部会議 ②震災発生から一年を迎え対策会議 ③1996/1/16 ④平21内閣 90025100
 19	①阪神、淡路大震災犠牲者追悼式 ②参列者の黙祷。総理の右は皇太子、妃殿下。 ③1996/1/17 ④平21内閣 90025100	 20	①阪神、淡路大震災犠牲者追悼式 ②葬場で追悼の辞を読む橋本総理 ③1996/1/17 ④平21内閣 90025100

写真2 阪神・淡路大震災に関する写真

 <p>21</p>	<p>①阪神・淡路大震災2周年追悼式 ②犠牲者追悼の祭壇に献花。参拝をする総理 ③1997/1/17 ④平2 1内閣 90025100</p>	 <p>22</p>	<p>①阪神・淡路大震災3周年追悼式 ②秋篠宮ご夫妻を迎え犠牲者に追悼の辞 ③1998/1/17 ④平2 1内閣 90025100</p>
 <p>23</p>	<p>①阪神・淡路大震災4周年犠牲者追悼式 ②秋篠宮ご夫妻を迎えた会場で弔辞 ③1999/1/17 ④平2 1内閣 90025100</p>	 <p>24</p>	<p>①阪神・淡路大震災5周年犠牲者追悼式 ②皇太子殿下をお迎えした式典で弔辞。 ③2000/1/17 ④平2 1内閣 90027100</p>
 <p>25</p>	<p>①阪神・淡路大震災5周年 ②大震災復興現場を上空から視察 ③2000/1/17 ④平2 1内閣 90027100</p>	 <p>26</p>	<p>①サミット 主要国首脳会議（カナダ） ②記者会見後、阪神大震災で米国からの援助に、神戸市の小学生たちがお礼の寄せ書きを託された総理からクリントン・米大統領に贈った ③1995/6/15 ④平2 1内閣 90032100</p>

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

写真2 阪神・淡路大震災に関する写真 続き

オウム真理教に関する事件は、平成6年(1994)6月27日に長野県松本市で発生した松本サリン事件、平成7年(1995)3月20日に、帝都高速度交通営団(現在の東京メトロ)の地下鉄車両内で発生した地下鉄サリン事件等の一連の事件の総称である。また、ガイドラインには「オウム真理教対策」とあるが、具体的な対策に関する写真は見られなかったため、ここでは本事件に関する写真を対象として調査を実施した。同資料に含まれる本事件に関する写真は写真3のとおりである。写真3において、地下鉄サリン事件に関する献花の写真が確認できる。

写真・No	詳細	写真・No	詳細
 <p>1</p>	<p>①地下鉄サリン事件3周年 ②事件現場の千代田線霞が関駅に設けられた斎場に献花 ③1998/3/20 ④平2 1内閣 90025100</p>	 <p>2</p>	<p>①地下鉄サリン事件、犠牲者に慰霊。 ②事件現場で犠牲者に慰霊献花 ③2000/3/20 ④平2 1内閣 90027100</p>

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

写真3 オウム真理教対策に関する写真

病原性大腸菌 0-157 とは、腸管出血性大腸菌 0-157 による食中毒事故の総称で、平成8年(1996)に岡山県を始めとして発生した。当時の厚生省の報道発表の中に、「病原性大腸菌 0-157 による食中毒に対する今後の対応について」(平成8年6月17日衛食第155号、厚生省生活衛生局長)<sup>64</sup>等の通知類が確認できる。同資料に含まれる病原性大腸菌 0-157 に関する写真は写真4のとおりである。写真4において、0-157 対策関係閣僚会議の写真が確認できる。

写真・No	詳細
 1	①O-157対策関係閣僚会議 ②右は菅厚生大臣。 ③1996/7/31 ④平21内閣 90025100

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

#### 写真4 病原性大腸菌0-157に関する写真

#### (2)我が国における行政等の新たな仕組みの構築

中央省庁等改革とは、行政改革最終報告(平成9年12月3日)を受け、中央省庁等改革基本法(平成10年法律第103号)の成立から、平成13年(2001)の新府省の発足及び独立行政法人への移行といった一連の動きの総称である<sup>65</sup>。同資料に含まれる中央省庁等改革に関する写真は写真5のとおりである。写真5において、行政改革会議等の写真が確認できる。

写真	詳細	写真	詳細
 1	①行政改革推進本部 ②委員を前に挨拶する総理 ③1996/11/19 ④平21内閣 90025100	 2	①行政改革会議 ②集中討議の会場 ③1997/8/18 ④平21内閣 90025100
 3	①行政改革会議 ②総理を囲んで集中審議 ③1997/11/19 ④平21内閣 90025100		

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

#### 写真5 中央省庁等改革に関する写真

情報公開法制定とは、平成6年(1994)の閣議決定「今後における行政改革の推進方策について」に始まり、行政機関の保有する情報の公開に関する法律(平成11年法律第42号)を始めとする情報公開関連法の制定に至る政策の検討過程及び決定までの総称である。同資料を対象に情報公開法制定に関する写真の有無を調査したが、該当する写真を確認することはできなかった。

不良債権処理関連施策はいわゆるバブル崩壊以降の施策の総称で、具体的には金融庁の金融再生プログラムが挙げられる<sup>66</sup>。同資料を対象に不良債権処理関連施策に関する写真の有無を調査したが、該当する写真を確認することはできなかった。

国立公文書館は昭和46年(1971)に総理府に設置された施設である。また平成23年(2011)4月1日に施行された公文書等の管理に関する法律(平成21年法律第66号公布)によって、公文書管理行政の中核を担う組織となった。同資料に含まれる国立公文書館に関する写真は写真6のとおりである。写真6において、開館式や各種記念展の写真が確認できる。

写真	詳細	写真	詳細
 1	①公文書館開館式 ②挨拶する佐藤総理 ③1971/7/2 ④平2 1内閣 90001100	 2	①内閣制度創始百年資料展視察 ②貴重な国政資料展を参観 ③1985/12/2 ④平2 1内閣 90011100
 3	①内閣制度百年記念 公文書館参観 ②内閣制度創始百周年記念 貴重な国政資料を参観する中曽根総理 ③1985/12/2 ④平2 1内閣 90011100	 4	①日本国憲法施行50周年記念展 ②会場で資料を見学する総理 ③1997/5/1 ④平2 1内閣 90025100
 5	①憲法施行50周年記念展 ②会場にご臨席された天皇・皇后両陛下 ③1997/1/1 <sup>67</sup> ④平2 1内閣 90025100	 6	①日本国憲法施行50周年記念展 ②会場の資料をご覧になる天皇・皇后両陛下 ③1997/5/1 ④平2 1内閣 90025100

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

### 写真6 国立公文書館に関する写真

#### (3) 国際的枠組みの創設

気候変動に関する京都会議とは、平成9年(1997)12月に京都で開催された国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)のことであり、本会議は地球温暖化の防止のため、温室効果ガスの排出量の抑制及び削減を目的とした国際会議の一つである<sup>68</sup>。同資料に含まれる気候変動に関する京都会議関連施策に関する写真は写真7のとおりである。写真7には、会議の開会式の写真が確認できる。

写真	詳細	写真	詳細
 1	①気候変動枠組条約第3回締約国会議 ②開会式で挨拶 ③1997/12/8 ④平2 1内閣 90025100	 2	①気候変動枠組条約第3回締約国会議 ②開会式で挨拶(全景) ③1997/12/8 ④平2 1内閣 90025100

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

### 写真7 気候変動に関する京都会議関連施策に関する写真

東京オリンピックは昭和39年(1964)に東京都で開催された第18回大会となる夏季オリンピックのことである。同資料を対象に東京オリンピックに関する写真の有無を調査したが、該当する写真を確認することはできなかった。

札幌オリンピックは昭和47年(1972)に北海道札幌市で開催された第11回大会となる冬季オリンピックのことである。同資料に含まれる札幌オリンピックに関する写真は写真8のとおりである。写真8には、大会開会式の写真が確認できる。

写真	詳細	写真	詳細
 1	①第11回冬季オリンピック札幌大会 ②両陛下がご臨席され、開会宣言をされる天皇陛下 ③1972/2/3 ④平21内閣 90001100	 2	①札幌オリンピック冬季大会開会式 ②天皇、皇后両陛下のご臨席された開会式。左はブランデーJIOC会長。右は植村札幌組織委員長。右端後方は佐藤総理夫妻。 ③1972/2/3 ④平21内閣 90001100

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

### 写真8 札幌オリンピックに関する写真

長野オリンピックは平成10年(1998)に長野県を中心とする地域で開催された第18回大会となる冬季オリンピックのことである。同資料に含まれる長野オリンピックに関する写真は写真9のとおりである。写真9には、壮行会、大会開会式や賜杯伝達式の写真が確認できる。

写真	詳細	写真	詳細
 1	①長野オリンピック日本選手団壮行式 ②壮行式で出場選手の前で激励する総理 ③1998/1/27 ④平21内閣 90025100	 2	①長野オリンピック開会式 ②天皇、皇后両陛下ご臨席されたスタンドで開会式を眺める総理夫妻 ③1998/2/7 ④平21内閣 90025100
 3	①長野オリンピックレセプション ②総理主催のレセプション会場でサマランチJIOC会長と語り合う ③1998/2/7 ④平21内閣 90025100	 4	①長野オリンピック 優勝者に賜杯伝達式 ②総理から原田選手(ジャンプ代表)に賜杯を伝達 ③1998/2/23 ④平21内閣 90025100
 5	①長野五輪優勝者懇親会 ②メダリストの選手たちを激励して握手 ③1998/2/23 ④平21内閣 90025100	 6	①長野パラリンピック選出団壮行挨拶 ②選手団を前に激励する総理 ③1998/3/2 ④平21内閣 90025100

※詳細の①はタイトル、②は写真説明、③は撮影年月日、④はレファレンスコードを示す。

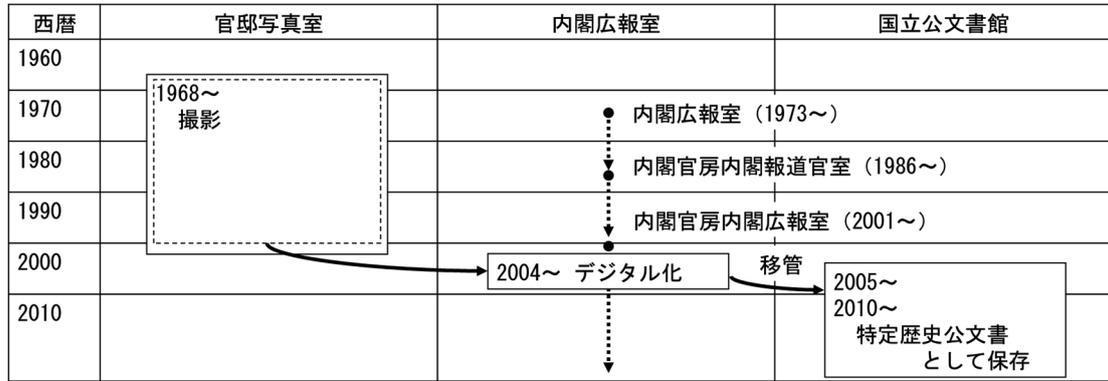
### 写真9 長野オリンピックに関する写真

## 4 考察

調査結果を元に、同資料の来歴、内閣官房内閣広報室がデジタル化して制作した資料としての側面、官邸写真室が撮影して記録した資料としての側面の2つの側面から、同資料の特徴を考察する。

はじめに来歴について整理する。同資料に含まれる写真は、古くは昭和43年(1968)9月12日から平成12年(2000)4月1日までの間に官邸写真室が撮影したと考えられる写真である。これらの写真を内閣官房内閣広報室がデジタル化し、行政文書ファイル管理簿に登録し、平成17年(2005)に国立公文書館に移管された。図7は各組織の変遷と同資料の撮影、

デジタル化、移管について時系列で整理したものである。



内閣官房内閣広報室がデジタル化して制作した資料として、同資料を捉えると、同資料は36簿冊で構成され、検索ツールが含まれる1簿冊と画像データが含まれる35簿冊に区分できる。この整理によって、DA内の目録も作成され、利用者は個々の簿冊を請求し、その中に含まれる画像を閲覧等することとなる。図8はこの簿冊別にみる同資料の構成を図示したものである。なお、表1より各簿冊は1枚のCD媒体で構成されていることが明らかである。

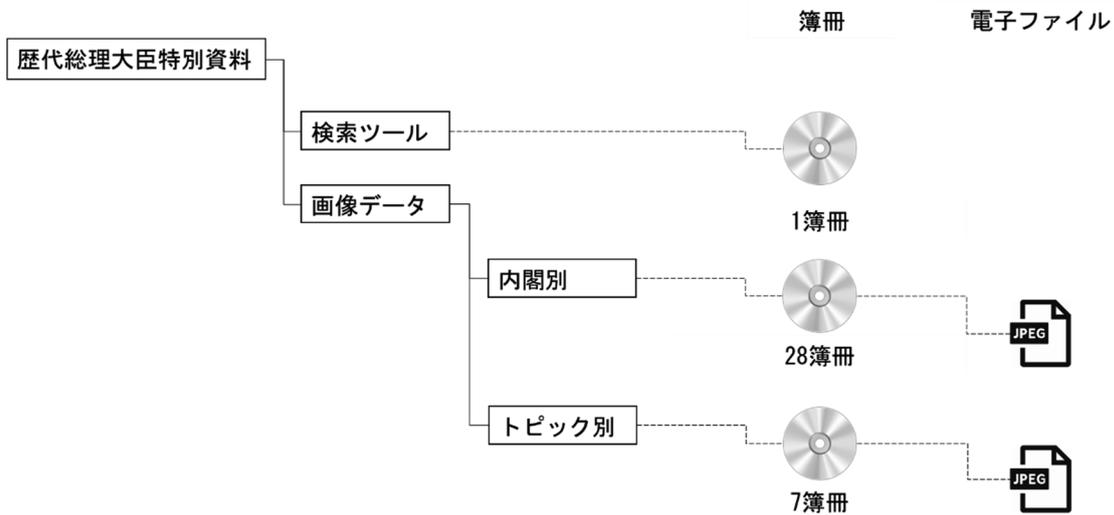


図8 内閣広報室がデジタル化して制作した資料としての整理

上記の整理方法では、記述や検索性の観点で次の課題が確認できる。1つ目は、作成部局がデジタル化をした部局である内閣官房内閣広報室であるのに対して、年月日はデジタル化した年ではなく、撮影年を記述している。2つ目は、簿冊表題に付与されている総理

の氏名や国内・海外といった情報が、排他的ではなく、正確ではないことが、調査1及び調査2の結果から明らかである。例えば、特定の総理に関する写真が、他の簿冊に含まれる場合が表6で確認できる。具体的には、海部総理の在任期間で行われた即位の礼に関する写真が、海部総理の氏名が付されていない簿冊(平21内閣 90029100)に、竹下総理の在任期間で行われた大喪の礼に関する写真が、竹下総理の氏名が付されていない簿冊(平21内閣 90030100)に、佐藤総理の葬儀や大平総理の葬儀の写真が、各総理の氏名が付されていない簿冊(平21内閣 90035100)に含まれている場合がある。また、簿冊表題に含まれる語句と異なるもしくは一般の利用者に誤解を与える写真が含まれていることが、表7から確認できる。具体的には、村山総理の在任期間に開催したAPEC首脳会談は大阪開催であったが、「村山」かつ「海外」の簿冊(平21内閣 90024100)に関する写真が含まれており、利用する際に注意する必要がある。

次に、官邸写真室が撮影して作成した資料として、同資料を捉えると、媒体別に付与された情報に惑わされることなく、同資料の特徴を導くことができる。同資料は、調査3から6056件の写真メタデータに、6,060ファイルの画像データが紐いている。なお、写真メタデータに複数の画像データが紐づいている例外についても調査3において特定しており、それ以外の写真メタデータと画像データは、全て1対1で対応している。図9は撮影者たる官邸写真室の視点から、この写真資料の一体的な集合物として捉えた場合の同資料の構成を図示したものである。

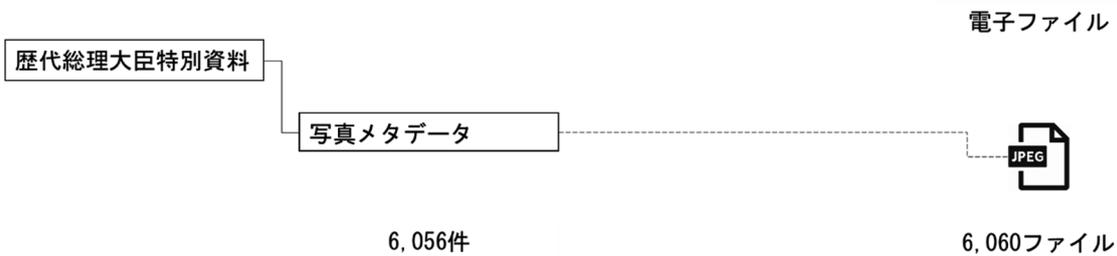


図9 官邸写真室が撮影して記録した資料としての整理

この6,056件の写真メタデータを時系列順に取りまとめることで、同資料の特徴が見えてくる。また、時系列順にすることで対応する歴代内閣の期間と重要政策等との関係も明らかになることができる。図10は、縦軸に西暦を付し、横軸に各年のメタデータ件数の推移、各内閣、重要政策等を一覧にしたものである。各年のメタデータ件数の推移と各内閣については、調査1の結果を元に作成し、重要政策等については、調査4及び5の結果を元に作成した。ガイドラインの重要政策に含まれていないが、相当すると考えられる「沖縄返還」「第1回サミットへの参加」「即位」「大喪」についても参考として追記している。

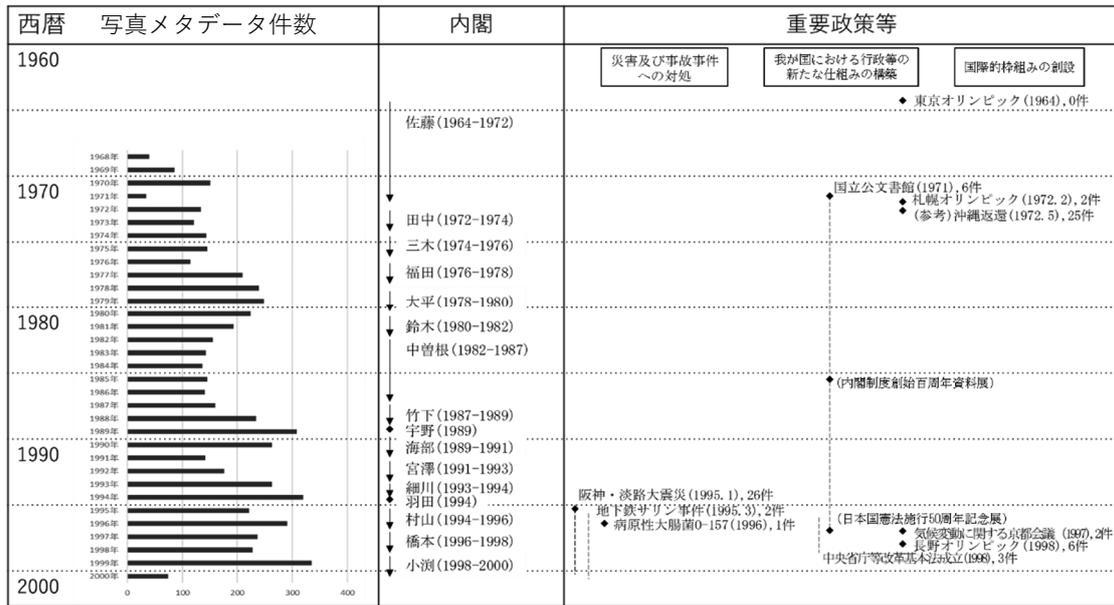


図10 歴代内閣別の写真メタデータ件数等

図10から、同資料で最も古い撮影年とする写真メタデータは1968年(昭和45年)であり、それから継続的に各内閣の写真を撮影していることがわかる。佐藤内閣は1964年(昭和39年)から始まり、その途中から同資料の撮影は開始している。そのため、重要政策であるが東京オリンピックの写真メタデータは同資料内に存在しない。一方、同資料で最も新しい撮影年とする写真メタデータは2000年(平成12年)であり、小淵内閣の区切りと合致している。

同資料を、官邸写真室が1968年(昭和45年)から2000年(平成12年)までの32年間にかけて継続的に撮影した写真として、一体的な資料として捉えることで、利用者にとって全体の構造を理解しやすく、同資料の検索方法の手がかりとなる。調べたい重要政策や内閣がある場合は、それらの撮影日の観点で検索し、該当した該当した画像データを含む簿冊を特定することで、希望する資料を見つけることにつながると考える。その際、写真メタデータを活用することも有用であると考え。この検索方法によって、簿冊表題に含まれる語句に左右されず、同資料内の画像データを網羅的に探索することができる。

ただし、上記の検索をする際において、本研究から2つの注意点が確認できる。1つ目の注意点は、災害及び事件事故への対処に関する重要政策を中心に、その事象が発生した時期と撮影年月日が一致しないことが多く見られる点である。例えば阪神・淡路大震災に関する写真は、発生当時は村山内閣であったが、関係する写真は、橋本内閣、小淵内閣にも見られる。なお、各オリンピックや気候変動に関する京都会議といった重要政策に関する写真は、開催日と撮影年が一致していることを確認している。

もう一つの注意点は、写真メタデータの精度を高める必要がある点にある。調査1の結果である表5から、明らかな記述の誤りが確認できる。また、誤りではないが記述された

語句が令和 2 年時点ではなじまない表記になっている部分がいくつか確認できる。例えばすでに存在しない国名等が見られる点である。これらについては、記録された時点の情報と、現時点での検索のしやすさの両面から検討し、必要に応じて改善することが望ましいと考える。

## 5 おわりに

本研究で得られた歴代総理大臣特別資料の特徴から、今後の研究への示唆について 2 点述べる。

第 1 に、本研究の結果から、同資料は官邸写真室が 1968 年(昭和 39 年)から 2000 年(平成 12 年)までの 32 年間にかけて継続的に撮影した写真であることを確認している。そのため、2000 年(平成 12 年)以降、具体的には森内閣以降の同様同種の写真に関する研究が求められる。その際、2000 年(平成 12 年)年 8 月以降におけるデジタルカメラへの撮影機器の変更やインターネット上に蓄積された電子データの位置づけについて観点とする必要があると考える<sup>69</sup>。

第 2 に、本研究の対象が、撮影された写真もしくはフィルムではなく、それらをデジタル化した電子ファイルという点である。また、それらの電子ファイルの仕様を確認したところ、電子の長期保存に耐えうる仕様とは言い難い状態にある。そのため、本資料の原本たる一次資料の所在に関する研究が求められる。

## 謝辞

最後に、本研究は、平成 31 年度及び令和 2 年度のリサーチアワーの成果を活用して作成している。また、貴重な助言をいただきました方々に感謝を申し上げる。

<sup>1</sup> 栃木智子「経済産業省(通商産業省)文書管理と移管のあり方について」『北の丸』第四三号、2011 年を初めとして、文部省・文部科学省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、内閣法制局、人事院、公正取引委員会、郵政省、通信省について、各機関の文書管理規程や文書管理体制の変遷、各機関からの文書移管実績について分析が加えられてきた。

<sup>2</sup> DA の簿冊詳細の「媒体の種別」の値が全て「その他の磁気媒体」となっているが、実際は CD なので「光ディスク」が適切であると考ええる。なお、原物の CD 媒体を確認したところ、各簿冊は CD 1 枚で構成されていた。

<sup>3</sup> レファレンスコードは「平 1 6 内閣 00022100」、作成部局は「内閣官房内閣広報室」とある。

<sup>4</sup> 国立公文書館「国立公文書館 EAD 定義」、[https://www.digital.archives.go.jp/howto/pdf/naj\\_ead107.pdf](https://www.digital.archives.go.jp/howto/pdf/naj_ead107.pdf)(参照、2020 年 4 月 1 日)。

<sup>5</sup> 平 2 1 内閣 90036100

<sup>6</sup> 検食用 CD に含まれる電子ファイル「readme.doc」に「Hyper-CD V2 補足説明ファイル」と題した文書があり、その中に、検食用 CD の動作環境の前提条件として、OS は Windows95(OSR2.0 以降)、Windows98、WindowsNT4.0、WorkStation、Windows2000 Professional のいずれか、必要ソフトは Microsoft Internet Explorer 4.01SP2、5.01SP2、5.5SP2、6.0、Netscape 6.2 のいずれかである必要があることが記述されている。

<sup>7</sup> 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会「SGML」『図書館情報学会用語辞典』第 4 版、丸善出版、2013、17 頁。本文献では、SGML について「ISO によって 1986 年に定められた自己記述可能な汎用のマークアップ言語。文書構造を記述するための言語であり、レイアウト情報は記述しな

- い。特徴は文書作成者がその文書独自の構造を表現する規則を作成できることである。(略)」と説明している。
- <sup>8</sup> 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会「メタデータ」『図書館情報学用語辞典』第4版、丸善出版、2013、236-237頁。本文献では、メタデータについて「情報資源を効果的に識別・記述・探索するために、その特徴を記述したデータ。(略)」と説明している。
- <sup>9</sup> 国立国会図書館『資料デジタル化の手引き』2017年版、14-21頁。本資料では複製物を作成する際のデジタル画像の仕様として、「画像フォーマット」「作成する画像の種類」「画像別の解像度」「画像フォーマット別の圧縮率」「カラースペース」「諧調」を挙げている。
- <sup>10</sup> Library of Congress. "PREMIS: Preservation Metadata Maintenance Activity", <http://www.loc.gov/standards/premis/> (Accessed 2019-11-01). 本米国会議図書館のウェブサイトには「PREservation Metadata: Implementation Strategies」について「保存用メタデータのためのPREMISデータディクショナリは、デジタルオブジェクトの保存をサポートし、長期的なユーザビリティを保証するためのメタデータの国際標準である」と説明している。なお、2019年11月現在、PREMIS Version3.0が最新バージョンである。
- <sup>11</sup> 内閣官房「内閣官房の概要」、<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/index.html> (参照、2020年4月1日)。本ウェブサイトには内閣官房の組織図が掲載されている。なお、2019年11月現在、内閣官房の組織図のバージョンは平成31年4月1日現在となっている。
- <sup>12</sup> 『内閣法(昭和22年法律第5号)』、最終改正、平成11年法律第88号。
- <sup>13</sup> 『内閣官房組織令(昭和32年政令第219号)』、最終改正、平成30年政令第76号。
- <sup>14</sup> 内閣官房「内閣広報室」、<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/kouhou.html> (参照、2020年4月1日)。
- <sup>15</sup> 内閣の重要政策に関する広報の推進について「内閣が進める重要政策について、各府省庁と連携しつつ、首相官邸ホームページ等、様々な媒体を活用した広報を推進。内閣の重要政策に関する広報について、政府一体となって戦略的に取り組んでいくため、各府省庁との総合調整を実施。」との記載が確認できる。
- <sup>16</sup> 首相官邸からの情報発信について「首相官邸における報道対応(内閣総理大臣や内閣官房長官による記者会見の実施等)首相官邸ホームページやソーシャルメディア(Instagram、Facebook、Twitter、LINE等)を活用した国内外に向けた情報発信。自然災害等の緊急事態が発生した際に、政府の取組状況等について、適時適切に情報発信」との記載が確認できる。
- <sup>17</sup> 国立公文書館「省庁組織変遷図」、<https://www.digital.archives.go.jp/hensen/hensen-detail.html#20> (参照、2020年4月1日)。
- <sup>18</sup> 前掲注17。
- <sup>19</sup> 前掲注17、<https://www.digital.archives.go.jp/hensen/hensen-detail.html#30> (参照、2020年4月1日)。
- <sup>20</sup> 久保田富弘「歴代総理大臣の写真記録とその保存について」『日本写真学会誌』67巻、2号、2004、124-126頁。
- <sup>21</sup> 首相官邸「写真室～「鶴の一声」で生まれた総理官邸写真室～」、<https://www.kantei.go.jp/jp/vt2/main/07/photo-syasin01.html> (参照、2020年4月1日)。本ウェブサイトでは、官邸写真室について「官邸に写真室が誕生したのは、昭和43(1968)年10月。前年に首脳会談で渡米した佐藤栄作総理が、ホワイトハウスの専属カメラマンから贈られたアルバムに感激。鶴の一声で、官邸写真室がスタートしました。」と説明している。
- <sup>22</sup> 前掲注20。本文献では、「官邸写真室、1968年創設」とある。
- <sup>23</sup> 前掲注21。本ウェブサイトでは、デジタルカメラの使用について「平成12(2000)年8月の森総理の南西アジア訪問時からはデジタルカメラも使うようになりました。首相官邸ホームページにおいて、総理の動向をその日のうちに写真で紹介していくためです。」と説明している。
- <sup>24</sup> 前掲注20。本文献では、「平成14年に官邸の建て替えとともに独立した資料室ができる。」とある。
- <sup>25</sup> 前掲注20。本文献では、「約40万コマ近くにのぼる保有フィルム」があること、そのうち「歴史的価値の高いと思われるフィルムを厳選、特別保存資料として、(略)約3千コマを選んで

収蔵している」とある。

- <sup>26</sup> International Council on Archives. "General International Standard Archival Description : ISAD(G)" Second Edition, 1999.
- <sup>27</sup> International Council on Archives. "International Standard Archival Authority Record For Corporate Bodies, Persons and Families : ISAAR(CPF)" Second Edition, 2003.
- <sup>28</sup> 前掲注 26、11 頁。原文では「Item. The smallest intellectually indivisible archival unit, e. g., a letter, memorandum, report, photograph, sound recording.」とある。
- <sup>29</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 21 頁。原文では「Photographs of Nationwide Celebrations of the Bicentennial of the Constitution」とある。
- <sup>30</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 23 頁。原文では「Peary Family Photographs」とある。
- <sup>31</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 2 頁。原文では「8,500 photographs」とある。なお、本記述例の記述レベルはフォンドレベルである。
- <sup>32</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 21 頁。原文では「1700 photographic prints」とある。なお、本記述例の記述レベルはフォンドレベルである。
- <sup>33</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 23 頁。原文では「312 linear feet of photographs, maps and charts, and textual records」とある。なお、本記述例の記述レベルはフォンドレベルである。
- <sup>34</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 9 頁。原文では「2 folders of photographs」とある。なお、本記述例の記述レベルはシリーズレベルである。
- <sup>35</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 23 頁。原文では「260 photographic prints, copy negatives, and transparencies」とある。なお、本記述例の記述レベルはシリーズレベルである。
- <sup>36</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 24 頁。原文では「9 photographic prints」とある。なお、本記述例の記述レベルはアイテムレベルである。
- <sup>37</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 3 頁。原文は「(略)specifications for construction of rail lines, stations, canals, telegraph lines; photographs, maps and plans of properties and construction sites.」とある。なお、本記述例の記述レベルはフォンドレベルである。
- <sup>38</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 21 頁。原文は「The photographs in this series consist primarily of coverage of state and local observances of Constitution Day, Sept. 17, 1987.」とある。なお、本記述例の記述レベルはシリーズレベルである。
- <sup>39</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 21 頁。原文は「The photographs, which were submitted by local liaison offices to the Commission, show parades, elementary school displays and pageants, ceremonial tree plantings, and other activities. In addition, there are photographs documenting (略).」とある。なお、本記述例の記述レベルはシリーズレベルである。
- <sup>40</sup> 前掲注 26、APPENDIX B の 21 頁。原文は「Photographs are arranged alphabetically by state, thereunder alphabetically by city, town, or county」とある。なお、本記述例の記述レベルはシリーズレベルである。
- <sup>41</sup> 前掲注 26、29 頁。原文は「Archival authority records are created primarily to document the context of records creation. To make this documentation useful it is necessary to link the authority records to descriptions of records. Archival authority records can also be linked to other relevant information resources. When such linkages are made it is important to describe the nature of the relationship, where known, between the corporate body, person or family and the linked resource.」とある。
- <sup>42</sup> 前掲注 27、29 頁。原文は「Purpose: To identify the nature of the relationships between the corporate body, person or family and the related resources. Rule: Describe the nature of the relationships between the corporate body, person or family and the related resource, e. g. creator, author, subject, custodian, copyright owner, controller, owner.」とある。
- <sup>43</sup> 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会「形態素解析」『図書館情報学用語辞典』第4版、丸善出版、2013。本文献では、形態素解析について「文を意味に持つ最小単位である形態素に分割し、品詞や活用、見出し語等を判別・付与する処理。解析には形態素辞書と形態素に関

- する文法知識を用いる。自然言語処理における最も基本的な処理で、この解析結果をもとに構文解析や意味解析、キーワードの自動抽出などが行われる。(略)」と説明している。
- <sup>44</sup> 自然言語を処理するにあたって一般的であるなどの理由で処理対象外とする単語を意味する。なお、本調査では助詞や括弧等の記号類を対象外とした。
- <sup>45</sup> 『行政文書の管理に関するガイドライン(平成23年4月1日内閣総理大臣決定)』、最終改正、令和元年5月1日一部改正。
- <sup>46</sup> 45件は全てタイトルに「APEC首脳会議」、作成年月日が1996年11月となっている。村山総理が参加したAPECは1995年11月の大阪開催であり、作成年月日が誤りであると考えられる。
- <sup>47</sup> CANON社ウェブサイト「写真用語集-ポートレート」、<https://ptl.imagegateway.net/contents/original/glossary/ポートレート.html>(参照、2020年4月1日)。
- <sup>48</sup> 他の簿冊であれば、岸総理、三木総理、福田総理の葬儀に関する写真が確認できる。
- <sup>49</sup> 5件の写真メタデータの内、2件がインドのニューデリーで撮影された写真、3件がロシアのモスクワで撮影された写真である。
- <sup>50</sup> 国連25周年記念総会の出席にあたり、羽田空港と日航機内で撮影された写真である。
- <sup>51</sup> ソ連書記長国葬参列にあたり、モスクワ空港で撮影された写真である。そのため、「国」項目が日本であることは誤りと思われる。「行事」項目の値が「海外・外国訪問」、「国」項目の値が「日本」ではないことから、保存すべき簿冊が誤りであると思われる。
- <sup>52</sup> いずれも海外の用務にあたり、羽田空港で撮影された写真である。
- <sup>53</sup> いずれも日本の大阪で開催されたAPEC首脳会談の写真で有り、日本国内で撮影された写真である。
- <sup>54</sup> 5件が別府市で行われた日韓首脳会談、9件が静岡県で行われた日露首脳会談で撮影された写真である。
- <sup>55</sup> 海外の用務にあたり、羽田空港で撮影された写真である。
- <sup>56</sup> 37件が昭和54年(1979)に日本で開催された第5回先進国首脳会議関係、46件が昭和61年(1986)に日本で開催された第12回先進国首脳会議関係、36件が平成5年(1993)に日本で開催された第19回先進国首脳会議関係の写真である。
- <sup>57</sup> 日韓首脳会談の写真メタデータ1件に2つの画像データがあることを確認した。また、防災訓練の写真メタデータ1件に2つの画像データがあることを確認した。
- <sup>58</sup> 「官邸閣議室に於ける閣議風景初公開」の写真メタデータ1件に2つの画像データがあることを確認した。「官邸総理執務室に於ける中曽根総理の執務風景初公開」の写真メタデータ1件に2つの画像データがあることを確認した。
- <sup>59</sup> 内閣府「阪神・淡路大震災教訓情報資料集阪神・淡路大震災の概要」、[http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/hanshin\\_awaji/earthquake/index.html](http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/hanshin_awaji/earthquake/index.html)(参照、2020年4月1日)。
- <sup>60</sup> 写真2の内、写真No1～4、10～12、16～17が現地視察に関する写真である。
- <sup>61</sup> 写真2の内、写真No5～8、13～15、18が災害や復興対策会議に関する写真である。
- <sup>62</sup> 写真2の内、写真No9、19～20が慰霊祭等の式典に関する写真である。
- <sup>63</sup> 1995年7月19日は明らかな誤りで、1995年1月19日と思われる。
- <sup>64</sup> 厚生省生活衛生局長「病原性大腸菌O-157による食中毒に対する今後の対応について」、<https://www.mhlw.go.jp/www1/houdou/0806/8.html>(参照、2020年4月1日)。
- <sup>65</sup> 中央省庁改革、<https://www.kantei.go.jp/jp/cyuo-syocho/>(参照、2020年4月1日)。
- <sup>66</sup> 金融庁「金融再生プログラム：主要行の不良債権問題解決を通じた経済再生」(平成14年10月30日)、<https://www.fsa.go.jp/news/newsj/14/ginkou/f-20021031-1.pdf>(参照、2020年4月1日)。
- <sup>67</sup> 5月1日の誤りと思われる。
- <sup>68</sup> 環境省「地球温暖化防止京都会議とは」、<http://www.env.go.jp/earth/cop3/>(参照、2020年4月1日)。
- <sup>69</sup> 前掲注21及び23。

(専門官)